

Nordic Market Biweekly Report

北欧市場ニュース～北欧投資の魅力と最新情報を隔週でお届けします

情報提供資料

2015年9月8日

★為替・金利の動向

対円レート推移

(2015年8月21日～2015年9月4日) ※単位は円

	8月21日	8月28日	9月4日	期間中騰落率
ノルウェー・クローネ	15.00	14.57	14.49	-3.4%
スウェーデン・クローナ	14.50	14.30	14.26	-1.7%
デンマーク・クローネ	18.59	18.24	17.88	-3.8%
ユーロ(フィンランド)	138.78	136.11	133.41	-3.9%

※為替は三菱東京UFJ銀行発表の日本時間午前10時仲値を参照

期間中(2015年8月21日～9月4日)、米利上げ観測の後退、中国経済の先行き不安視の強まり等を受け、円買いの動きが強まる中、北欧4か国の通貨は対円で下落しました。

石油輸出国機構(OPEC)と北米のシェール企業の増産による原油の供給超過への懸念から、北海ブレント原油は、2009年3月以降で初めて1バレル=45米ドルを割り込み、ノルウェー・クローネ安の一因となりました。

欧州中央銀行(ECB)が特定の銘柄について、ECBによる購入割合の上限を引き上げ、ECBのドラギ総裁が更なる量的緩和の拡大と延長を示唆したことを受け、ユーロは対主要通貨で下落しました。

銀行間取引金利3カ月物推移

(2015年8月21日～2015年9月4日) ※単位は%

	8月21日	8月28日	9月4日	期間中変動幅
ノルウェー	1.190	1.130	1.150	-0.040
スウェーデン	-0.274	-0.315	-0.304	-0.030
デンマーク	-0.060	-0.063	-0.038	0.022
ユーロ圏(フィンランド)	-0.031	-0.033	-0.034	-0.003

期間中(2015年8月21日～9月4日)の北欧4か国各国の銀行間取引金利の動きは小幅な変動ながらも、各国の情勢を反映したものとなりました。

ユーロペッグ放棄を当て込んだデンマーク・クローネ買いが鳴りを潜める中、デンマークの銀行間取引金利は小幅上昇しました。

首相、財務相ともに国内雇用創造への政府関与の必要性を示唆したノルウェーと、製造業、サービス業ともに事前予想以上の活動落ち込みが明らかになったスウェーデンでは、追加金融緩和策実施への期待が強まり、両国の銀行間取引金利は低下しました。

対円レート推移

(2014年1月6日～2015年9月4日)

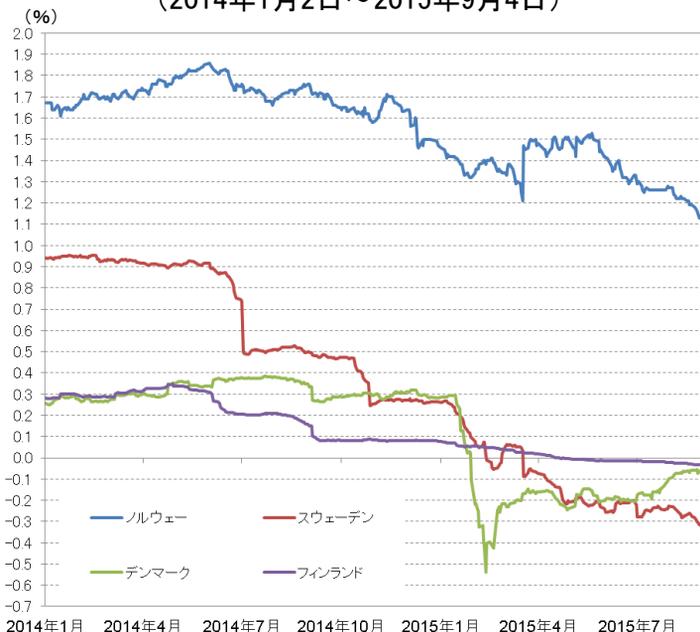
※2014年1月6日を100として指数化



出所)ブルームバーグデータをもとにBNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社作成

銀行間取引金利3カ月物推移

(2014年1月2日～2015年9月4日)



出所)ブルームバーグデータをもとにBNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社作成

【本資料に関するご留意事項】

本資料は、BNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社(当社)が、2015年9月に作成したものです。特定の金融商品の取得勧誘を目的としたものではありません。本資料における統計等は、当社が信頼できるとされる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。本資料中の情報は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。

☆北欧ニュース

＜ノルウェー： 経済成長率の低迷続く＞

エネルギーセクターおよび、エネルギー関連セクターの不振が足を引っ張り、2015年第2四半期のノルウェーの経済成長率は前期比0.2%の増加に留まりました。好調な個人消費は製造業やサービス業の成長に寄与し、同国の輸出を支えた水産業も経済成長に貢献しました。しかし、エネルギーセクターおよび、エネルギー関連セクターが前期比マイナスの1.5%となり、同国経済が依然として、エネルギー価格、エネルギー需要に翻弄されていることを裏付ける結果となりました。

一方、労働市場は改善傾向にあります。労働者数は前期比で約5,500人増え、労働時間も前期比0.2%の増加となりました。

＜デンマーク： マースク・オイル社、北海での天然ガス田探掘権を獲得＞

マースク・オイル社は英国領海内の北海で、2008年に発見されたCulzeanガス田の探掘権を獲得しました。同ガス田では1日あたり、60,000～90,000石油換算バレル※の天然ガスの探掘が見込まれます。2021年には、英国の天然ガス需要の5%を賄うことが期待されていますが、同ガス田の稼働にあたっては、高温高圧の苛酷な採掘環境に加え、現行の出荷価格では採算割れとなる見通しであり、英国政府の支援を受けることになっています。このような厳しい条件で、同社が探掘権獲得に踏み切ったのは、エネルギー価格および需要の回復を見込んだ先行投資をしたい同社とエネルギー開発の投資資金を安定的に確保したい英国政府の思惑が一致したことが決め手になったと見られています。

※ 石油換算バレルは1バレルの原油を燃焼させたときに生じるエネルギーを1単位としたものです。164～170m³の天然ガスが生み出すエネルギーに相当します。

＜スウェーデン： iZettle社、新たにキャッシングサービスを開始＞

北欧諸国を中心に、モバイル端末専用のカードリーダーを利用した決済サービスを提供しているスウェーデンのiZettle社は、自社の決済サービスを利用している小売業者の顧客(個人消費者)を対象とする、キャッシングサービスを展開する計画を発表しました。同社広報は「小規模な小売業者が受けられる金融支援は総じて不十分で、同社が提供するサービスは小規模事業者への一助となるはずだ。」とし、併せて、「今後自社で蓄積していく、消費者の購買履歴や借入返済の履歴が、新サービスの開発・展開にも大いに役立つことが期待される。」と同サービス提供の意義について述べています。

＜フィンランド： フィンエアー、パイロットを大量採用へ＞

フィンランドのフラッグシップキャリア、フィンエアーは早ければ今秋までに60人、最終的には200人のパイロット確保に乗り出すことを明らかにし、100人を超える客室乗務員の採用計画も発表しました。2011年以降、同社はコスト効率化に取り組み、2015年6月時点の従業員数はピーク時の約半分の規模まで縮小していました。同社が今回、増員に舵を切った背景としては、LCCによる市場攻勢が一巡する中での航空需要の回復や、燃料効率が従来の機材より優れるエアバスの最新鋭機A350XWB、19機の受領が迫っていることが挙げられ、同社の経営再建は新たなステージに入りました。

出所：各種資料をもとにBNPパリバインベストメント・パートナーズ株式会社作成

※ 文中に登場する企業名等は情報提供のためのものであり、当社が特定の有価証券等の取得勧誘を行うものではありません。



BNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第378号

加入協会 一般社団法人 投資信託協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

【本資料に関するご留意事項】

本資料は、BNPパリバ インベストメント・パートナーズ株式会社(当社)が、2015年9月に作成したものです。特定の金融商品の取得勧誘を目的としたものではありません。本資料における統計等は、当社が信頼できるとされる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。本資料中の情報は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。